

<講演> 温暖化で変わる富山の自然と気象

気象予報士・BBT 気象キャスター・防災士 木地 智美 氏



BBT 気象キャスターとしてお茶の間で親しまれている木地 智美さんは、自ら「気象予報士とは地球温暖化を伝えるメッセンジャーである」とし、天気図やデータをもとに予想し、気温の変化や季節感(花、服装)を大切に、天気予報を伝えてくださっています。以下講演概要です。

1 春 花嵐 花開いて風雨多し(春は強い風が吹くことが多い)

局地風(神通おろし・井波風・庄川おろし・八乙女おろし・医王山おろし等)

- ・富山の気象には地形(高い山に囲まれている)が大きく影響し、春に嵐が多い。
- ・日本海低気圧に向かって南風が吹き込む。南寄りの風が高い山を越えて吹き降りる時にフェーン現象が起き、気温が上昇する。神通川の谷筋に沿って強風(神通おろし)が吹き、風の町大沢野を通る。
- ・強風・高温・乾燥の被害・・・農業用ハウス等の倒壊、交通障害、雪崩、火災に注意

2 夏 地球温暖化の影響で日本では農作物に高温障害が発生(コメの白濁、色付きの悪いりんご等)

- ・温暖化の要因として、人間活動の影響が主な要因である可能性が高い。化石燃料を燃やしたり、森林を伐採したりすることで温室効果ガス(二酸化炭素)が増えている。
- ・世界の年平均気温は100年あたり0.7度上昇、日本は100年あたり1.2度上昇、富山市は100年あたり2.2度上昇している。
- ・温暖化で一番わかりやすいのは、桜の開花。(富山地方気象台のさくら開花は50年でおおよそ6日早くなった)カエデの紅葉は50年でおおよそ23日遅くなっている。
- ・大気中の水蒸気量が増加すると、雨の降り方が激しくなる。富山県では滝のように降る雨が増加している。災害を引き起こす雨として、1時間に50~80ミリ以上は非常に激しい雨、80ミリ以上は猛烈な雨。
- ・富山県では、降水のない日も増加している。
- ・人為起源のCO₂排出量の急増に対して、COP21パリ協定において、産業革命以前に比べて2℃よりも十分低く保つとともに1.5℃に抑える努力を追求することを世界共通の目標として合意した。



3 秋 台風の発生

- ・台風の年間発生数(1981年~2010年平均)は25.6個、上陸2.7、接近11.4(昨年29発生、5上陸、16接近)
- ・台風の強さは最大風速で決まる。
- ・台風は水蒸気の塊で暖かい海上で発達する。温暖化で海の温度が上昇して日本接近が増えている。
- ・夏は迷走台風が多く、ノロノロ日本海を通る。南西の暴風でフェーン現象を起こす。秋は韋駄天台風が多く、北東の強風で高波・高潮を起こす。

4 冬 大雪

- ・富山の最深積雪は、S38年183cm・S56年160cm・S59年122cm・H18年79cm。
- ・昭和の時代は積雪が多かったが、平成になり少なくなっている。
- ・冬の雷、鱒起こしは、世界的に珍しい現象で、全国雷年間日数ランキングで金沢42.4回・福井35回・新潟34.8回・4位富山32.2回・秋田31.4回と北陸と東北の日本海側に発生している。
- ・西高東低の冬型の気圧配置になり、シベリア大陸からの冷たい季節風が比較的暖かい日本海を通過するときたくさんの水蒸気を補給し、雪雲となって日本に雪をもたらす。
- ・富山市の最深積雪ランキングは全国3位。

5 天気予報のことば クイズ

- ①降水確率50%とは・・・同じ気象条件が100回あれば、そのうち50回、1ミリ以上の雨が降る確率をいう。
- ②「曇り夕方雨」の夕方とは・・・午後3時~6時。夜の始めとは、午後6時~9時。
- ③富山は気象予報区分では○日本?・・・東日本となる。(西日本ではない)
北陸地方とは新潟・富山・石川・福井をいう。(例 梅雨入り・梅雨明けの発表)

6 気象予報は気象庁ホームページから情報が得られる!

- ・空を見て肌で感じることに加えて、気象庁ホームページの雨雲の動き等から15時間先まで調べることが出来る。伏木の気象台は、重要な観測ポイントである。